

## 機械器具(06) 呼吸補助器

### 管理医療機器 特定保守管理医療機器

酸素濃縮装置 12873002 (呼吸同調式レギュレータ 70576000, テレメトリー式パルスオキシメータ受信機 38557000)

## 「ハイサンソ ポータブルαIII」の付属品

### 酸素取出口（静音ボックスの構成部品）

#### 【警告】

##### 1. 使用方法

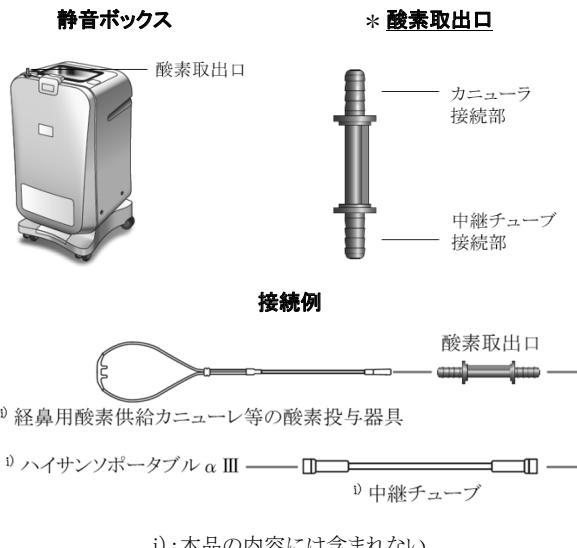
- 酸素は、それ自体は燃焼しないが、燃焼を助けるガス（支燃性ガス）である。酸素吸入中は次のような発火源の周囲2m以内に近づかないこと。また、本品（静音ボックスを含む）および外したカニューラ、延長用チューブ、中継チューブを次のような発火源の周囲2m以内に近づけないこと。[やけど、火災のおそれがある。]
- ・ 高温の熱源
- ・ スパークを発するおそれのある電気機器等
- ・ 裸火（タバコ、ライター、ストーブ、マッチ、ロウソク、線香）

#### \* 【形状、構造及び原理等】

詳細はハイサンソポータブルαIII 専用静音ボックスの取扱説明書「2.構成と各部の名称」を参照のこと。

##### 1. 構成

本品は、ハイサンソポータブルαIIIの付属品である静音ボックスに固定された状態で使用する。



i) : 本品の内容には含まれない

##### 2. 構造に関する仕様

- (1)重量 : 16.7kg（静音ボックスとして）
- (2)寸法 : 296W×323D×578Hmm（静音ボックスとして）
- (3)使用環境温度 : 5~35°C、結露なきこと

#### 【使用目的又は効果】

##### 1. 使用目的

本品はハイサンソポータブルαIIIと経鼻用酸素供給カニューレ等の酸素投与器具（以下、カニューラという）の接続を仲介する部品である。

#### \* 【使用方法等】

詳細はハイサンソポータブルαIIIの取扱説明書の「3.ご使用方法」および専用静音ボックスの取扱説明書の「3.ご使用方法」を参照のこと。

##### 1. 使用前の準備

- (1) 静音ボックスの電源ソケットにACアダプターを接続し、電源プラグを交流100Vのコンセントに差し込む。
- (2) 静音ボックスの酸素取出口のカニューラ接続部にカニューラを取り付ける。必要に応じ延長用チューブ、コネクタ等を酸素取出口のカニューラ接続部とカニューラに取り付ける。

- (3) 静音ボックスの前扉を開き、静音ボックスの酸素取出口の中継チューブ接続部に中継チューブを取り付ける。
- \* (4) ハイサンソポータブルαIIIを専用バッグ（専用リュックではない）に収納する。
- (5) 専用バッグに収納された状態のハイサンソポータブルαIIIを静音ボックスに搭載する。
- (6) ハイサンソポータブルαIIIに電源コネクタと中継チューブを取り付ける。

##### 2. 運転/使用

- (1) ハイサンソポータブルαIIIの使用方法に従って本体の電源を入れ、流量を設定する。
- (2) 静音ボックスの前扉を閉じ、カニューラを装着し、酸素吸入を開始する。

##### 3. 使用の停止

- (1) カニューラを取り外し、静音ボックスの前扉を開く。
- (2) ハイサンソポータブルαIIIの使用方法に従って本体を停止させ、お知らせ表示（液晶）の消灯を確認する。

##### 4. 併用医療機器

本品と共に使用する中継チューブとして以下の医療機器を使用する。

販売名	認証番号
アトム酸素供給チューブ	224ADBZX00061000

#### 使用方法等に関連する使用上の注意

- ・ 酸素取出口に手等をぶつけないように十分注意して使用すること。
- ・ 湿気の多いところや風呂場や洗面所等の水のかかる場所で使用したり、放置したりしないこと。
- ・ 静音ボックスの空気取入口や排気口を塞がないこと。
- ・ 静音ボックスの周りに15cm以上の間隔を取ること。
- \* - 静音ボックスにはハイサンソポータブルαIIIを専用バッグに収納した状態で搭載すること。
- \* - 専用リュックは静音ボックス搭載不可のため、使用しないこと

#### \* 【使用上の注意】

詳細はハイサンソポータブルαIII 専用静音ボックスの取扱説明書「1.安全にご使用になるために」を参照のこと。

##### 1. 重要な基本的注意

- ・ 酸素吸入を行っているときは、周りの人も含めて禁煙を守ること。
- ・ 本品の近くに燃えやすいものを置かないこと。
- ・ 使用環境温度として記載の範囲内で使用すること。

##### 2. 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関する事項）

###### (1) 併用注意（併用に注意すること）

- ・ ハイサンソポータブルαIII以外の酸素濃縮装置で使用しないこと。  
[酸素供給に支障が生じる場合がある。]

\* - カニューラ、延長用チューブ、中継チューブ等の器具・備品は、製造販売業者が指定する製品を使用し、指定品以外の器具・備品を使用しないこと。  
[酸素供給に支障が生じる場合がある。]

\* - ハイサンソポータブルαIIIを連続モードで使用する場合、延長用チューブは10m以内の製造販売業者が指定する製品を使用すること。  
[酸素供給に支障が生じる場合がある。]

\* - ハイサンソポータブルαIIIを同調モードで使用する場合、延長用チューブは3m以内の製造販売業者が指定する製品を使用すること。  
[酸素供給に支障が生じる場合がある。]

- ・ 本品の使用前に、酸素供給回路に閉塞や抜け等が無いか、必ず確認すること。  
[酸素供給に支障が生じる場合がある。]

- ・ 使用中は、酸素供給回路の状態を監視し、回路の外れや閉塞等に

取扱説明書を必ず参照のこと

QRコード  
社内管理コード  
L187X11200-02

十分注意すること。[酸素供給に支障が生じる場合がある。]

\* 【保守・点検に係る事項】

詳細はハイサンソポータブルα IIIの取扱説明書の「5.お手入れのしかた」および専用静音ボックスの取扱説明書の「4.お手入れのしかた」を参考のこと。

\* 1.使用者による保守点検事項

- \* ホコリ等の汚れは、乾いた柔らかい布、よく水をしぼった布、または家庭用中性洗剤をついたスポンジでふくこと。

\* 2.業者による保守点検事項

6ヶ月に一度以上の頻度で、下記点検を行うこと。

- ・ 外観確認、部品および消耗品のチェック、交換
- ・ 性能測定、騒音、振動(ハイサンソポータブルα III搭載状態)
- ・ 清掃

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

帝人ファーマ株式会社(電話:03-3506-4077(代表))